

事業シート(平成29年度決算)

事業名	42100 公衆便所管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	
					款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境		
					項	2	清掃費		施策概要	2	公衆衛生環境の確保		
					目	1	清掃総務費		根拠計画				
担当課	水道部 下水道課	内線	2264										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公衆便所の整備や維持管理を行い、誰にでも快適に利用できるようにする。	概要	・年間を通して公衆便所を快適に利用できるように清掃等の維持管理を行う。 ・観光客等の動向とニーズの変化を見極め、公衆便所の整備、改修の必要性を検討する。
----	-------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		14,429	13,479	14,429	14,429	13,812
						増減 (b)-(a)
						333
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(手数料、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	100	105	0	0	12
一般財源		14,329	13,374	14,429	14,429	13,800
個票枝番 主な事業内容						426
	公衆便所の維持管理	14,429	13,479	14,429	14,429	13,812
	ユニバーサルシートの設置					333
	公衆便所の快適度診断					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・所管する12施設の定期的な清掃の実施
評価等	・観光客等の動向と利用者ニーズの変化を見極め、継続して施設の整備・修繕・改修を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・引き続き、清潔で使用しやすい公衆便所として維持管理を行う。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・所管する12施設の定期的な清掃の実施
評価等	・観光客等の動向と利用者ニーズの変化を見極め、継続して施設の整備・修繕・改修を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・引き続き、清潔で使用しやすい公衆便所として維持管理を行う。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	14,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
17,655	15,714	17,214	2,785
105	300	300	300
17,550	15,414	16,914	2,485
査定額	説明		
14,414			
1,300	2箇所		
1,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・施設の維持管理に必要な光熱水費等の経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・公衆トイレ診断に要する経費を計上

事業シート(平成29年度決算)

事業名	42110 浄化槽整備費助成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
					款	4	衛生費		個別分野	5	上下水道		
					項	2	清掃費		施策概要	4	水洗化の普及		
					目	1	清掃総務費		根拠計画		高山市下水道事業整備6か年計画		
担当課	水道部 下水道課	内線	2264										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・下水道が整備されていない地域の家庭等に対する浄化槽の設置促進により、生活排水を適正に処理する。 ・公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境を向上させる。	概要	・下水道整備計画区域外の世帯(浄化槽整備区域)で浄化槽を設置する市民に対して補助金を交付する。 ・特に建設年数が経っている既存の住宅については補助金を上乘せし、個人負担を大幅に軽減することで、水洗化を促進する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
生活排水処理率	90.0%	90.4%	93%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		25,038	12,584	20,038	20,038	7,656
特定財源	国費 (浄化槽設置整備事業費1/3)	3,762	2,955	3,321	3,321	3,055
	県費 (浄化槽設置整備事業費1/3)	3,819	2,673	3,379	3,379	1,711
	その他()					
一般財源		17,457	6,956	13,338	13,338	2,890
個票枝番	主な事業内容					
	浄化槽設置整備事業補助金	25,000	12,567	20,000	20,000	7,640

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	25,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
21,248	20,036	20,036	△ 2
3,321	3,321	3,321	0
3,371	3,368	3,368	△ 11
14,556	13,347	13,347	9
査定額	説明		
20,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・浄化槽整備事業補助金交付実績 17件
評価等	・公共用水域の水質保全、生活環境の向上のため、補助事業を継続する。 ・市民が浄化槽を設置する場合、個人負担軽減のための補助制度を知ることができるよう、様々な周知方法を活用し、浄化槽の設置を推進する。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・浄化槽整備事業補助金交付実績 12件
評価等	・公共用水域の水質保全、生活環境の向上のため、補助事業を継続する。 ・市民が浄化槽を設置する場合、個人負担軽減のための補助制度を知ることができるよう、様々な周知方法を活用し、浄化槽の設置を推進する。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・水洗化率向上のために必要な経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	42300	し尿処理施設管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
				款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境		
				項	2	清掃費		施策概要	2	公衆衛生環境の確保		
				目	3	し尿処理費		根拠計画		高山市生活排水処理基本計画		
担当課	水道部	下水道課	内線	2264								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・処理施設を適正に運転管理することで汚水を適切に処理し、公共用水域の水質保全と生活環境の向上に努める。 ・適正に管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る。	概要	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的に起こる修繕に迅速に対応する。 ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水基準値内で処理する。 ・汚水の処理に伴い発生する汚泥(一般廃棄物)を適切に処理する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		192,759	183,564	190,279	190,279	183,334
						増減 (b)-(a)
						△ 230
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(使用料)	4,907	4,422	4	4	5
一般財源		187,852	179,142	190,275	190,275	183,329
個票枝番	主な事業内容					
	環境センター、久々野衛生センターの維持管理	128,159	120,256	124,679	124,679	120,166
	飛騨市への管理運営業務委託	64,600	63,308	65,600	65,600	63,168

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	194,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
212,155	180,919	180,919	△ 9,360
4	4	4	0
212,151	180,915	180,915	△ 9,360
査定額	説明		
124,919			
56,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・予防保全のための定期的な修繕・改修の実施 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務を実施
評価等	・定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に対応する必要がある。 ・計画的に設備の補修や部品等の交換を行うことにより修繕箇所を減らし、施設の長寿命化とコスト縮減を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・施設の適切な管理運営を継続して行う。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・予防保全のための定期的な修繕・改修の実施 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務を実施
評価等	・定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に対応する必要がある。 ・計画的に設備の補修や部品等の交換を行うことにより修繕箇所を減らし、施設の長寿命化とコスト縮減を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・施設の適切な管理運営を継続して行う。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・施設の維持管理に必要な経費を計上 ・飛騨市への管理運営事務委託料を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_4

事業名	11100 管きょ建設事業費			予算	会計	4	下水道事業特別会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。		
					款	1	下水道事業費		個別分野	5	上下水道				
					項	1	下水道施設費		施策概要	5	下水道施設の整備				
					目	1	管きょ建設事業費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画					
					担当課				水道部 下水道課		内線			2264	

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。 ・処理区域の再編により、維持管理・施設更新費用の削減を図る。	概要	・老朽化したマンホール蓋を計画的に更新する。 ・下水道接続の希望者に対し、下水道本管までの管きょ整備を行う。 ・処理区域再編整備計画策定のための基礎調査を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
生活排水処理率	90.0%	90.4%	93%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		66,257	64,404	70,291	41,291	39,006	△ 25,398
特定財源	国費 (管きょ整備事業費5/10)	25,000	24,786	30,000	13,300	13,791	△ 10,995
	県費 ()						
	その他(市債)	22,500	22,300	27,000	12,700	12,300	△ 10,000
その他		18,757	17,318	13,291	15,291	12,915	△ 4,403
個票枝番	主な事業内容						
	汚水管きょ布設、マンホール蓋取替	60,797	60,796	65,000	36,000	35,545	△ 25,251
	下水道処理区域再編整備						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・マンホール蓋の更新整備 157箇所 ・取付管設置 31箇所
評価等	・第2期長寿命化計画に基づき、マンホール蓋の更新を計画的に行っている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・老朽化したマンホール蓋の計画的な更新 ・下水道整備計画(未普及地区)見直しの検討

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・マンホール蓋の更新整備 100箇所 ・取付管設置 30箇所
評価等	・第2期長寿命化計画に基づき、マンホール蓋の更新を計画的に行っている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・老朽化したマンホール蓋の計画的な更新 ・下水道整備計画(未普及地区)見直しの検討

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	65,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
88,502	76,687	76,687	6,396
34,176	28,700	28,700	△ 1,300
40,200	35,000	35,000	8,000
14,126	12,987	12,987	△ 304
査定額	説明		
50,000			
※	基礎調査、認可書類作成		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・下水道処理区域の再編
担当課予算要求ポイント	・下水道処理区域の再編整備に対する基礎調査 ・管きょ布設・マンホール蓋更新に必要な経費を計上

財務部査定の方 考え方	・積算内容を精査
市長査定の方 考え方	・財務部査定のとおり

34_下水道課.xlsx4

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_5

事業名	11220 処理場建設事業費			予算	会計	4	下水道事業特別会計	総合計画画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
					款	1	下水道事業費		個別分野	5	上下水道		
					項	1	下水道施設費		施策概要	5	下水道施設の整備		
					目	2	処理場建設事業費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画			
担当課	水道部 下水道課		内線	2264									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・耐用年数の経過等により老朽化及び機能が低下した宮川終末処理場の設備及び機器の更新・長寿命化を行い、処理場の機能維持を図る。	概要	・宮川終末処理場の老朽化した設備及び機器の計画的な更新及び長寿命化工事を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		355,441	225,037	933,250	1,063,509	893,633	668,596
特定財源	国費 (処理場改造事業費5/10,5.5/10)	195,000	123,522	512,500	512,500	490,746	367,224
	県費 ()						
	その他 (市債)	142,000	89,900	370,000	421,800	354,000	264,100
その他		18,441	11,615	50,750	129,209	48,887	37,272
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	汚泥焼却設備更新(H28～H30 継続費)	355,000	224,741	925,000	1,055,259	893,492	668,751
	沈砂池設備更新						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・宮川終末処理場汚泥焼却設備更新(平成28～30年度継続事業)	
評価等	・下水道事業整備5か年計画に基づき設備の更新を計画的に行っている。 ・施設は供用開始から時間が経過し老朽化が進んでいる設備が多いことから、更新計画については定期的に見直していく必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・計画的に長寿命化工事を実施する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・宮川終末処理場汚泥焼却設備更新(平成28～30年度継続事業)	
評価等	・下水道事業整備5か年計画に基づき設備の更新を計画的に行っている。 ・施設は供用開始から時間が経過し老朽化が進んでいる設備が多いことから、更新計画については定期的に見直していく必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・計画的に長寿命化工事を実施する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	740,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,027,454	1,027,540	1,027,540	94,290
563,227	563,250	563,250	50,750
412,800	412,000	412,000	42,000
51,427	52,290	52,290	1,540
査定額	説明		
1,000,000	焼却炉整備(H28-30継続費)		
※	沈砂池設備設計		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・宮川終末処理場焼却炉の建設(継続費)

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業名	11220 処理場建設事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	4	下水道事業特別会計	担当課	水道部 下水道課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	1	下水道事業費		
枝番・内容	1 汚泥焼却設備更新(H28～H30 継続費)		☒ その他重要事業			項	1	下水道施設費	内線	2264
			☐			目	2	処理場建設事業費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・耐用年数の経過等により老朽化及び機能が低下した宮川終末処理場の設備及び機器の更新・長寿命化を行い、処理場の機能維持を図る。	概要	・汚泥焼却設備の更新
----	--	----	------------

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	355,000
	繰越	
	補正等	
	最終	355,000
決算額		224,741
対前年度増減額(決算)		224,741

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	925,000
主な経費	・委託料	
	・工事請負費	
対前年度増減額(当初予算)		570,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	925,000
	繰越	130,259
	補正等	
	最終	1,055,259
決算額		885,500
対前年度増減額(決算)		660,759

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	1,000,000
主な経費	・委託料	
	・工事請負費	
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・宮川終末処理場汚泥焼却炉長寿命化工事(平成28～30年度継続事業) 焼却炉工場製作、土木・基礎工事		
・宮川終末処理場汚泥焼却炉長寿命化工事監理業務(平成28～30年度継続事業) 施工管理		
[評価]		
・計画どおり実施できた		
次年度以降の考え方(担当課)	・計画的に長寿命化工事を実施する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・宮川終末処理場汚泥焼却炉長寿命化工事(平成28～30年度継続事業) ・宮川終末処理場汚泥焼却炉長寿命化工事監理業務(平成28～30年度継続事業)	
[スケジュール]	
・4月～3月 長寿命化工事・工事監理業務	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・宮川終末処理場汚泥焼却炉長寿命化工事(平成28～30年度継続事業) 焼却炉据付工事、建築工事		
・宮川終末処理場汚泥焼却炉長寿命化工事監理業務(平成28～30年度継続事業) 施工管理		
[評価]		
・計画どおり実施できた		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☒ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・宮川終末処理場汚泥焼却炉長寿命化工事(平成28～30年度継続事業) 電気設備工事(受変電設備、計装設備等)	
・宮川終末処理場汚泥焼却炉長寿命化工事監理業務(平成28～30年度継続事業) 施工管理	
[スケジュール]	
・4月～3月 長寿命化工事・工事監理業務	

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_7

事業名	12100 特定環境保全管きょ建設事業費			予算	会計	4	下水道事業特別会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
					款	1	下水道事業費		個別分野	5	上下水道		
					項	2	特定環境保全下水道施設費		施策概要	5	下水道施設の整備		
					目	1	管きょ建設事業費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画			
担当課	水道部 下水道課		内線	2264									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水が適正に処理される快適な生活環境を確保する。	概要	・国府処理区及び栃尾処理区の下水道未普及地区に下水道管きょを布設する。
----	---------------------------	----	-------------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
生活排水処理率	90.0%	90.4%	93%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		142,043	137,719	153,719	135,719	134,031	△ 3,688
特定財源	国費 (管きょ整備事業費5/10)	53,000	52,192	27,900	22,900	22,560	△ 29,632
	県費 ()						
	その他(市債)	77,500	78,000	114,000	102,400	102,800	24,800
その他		11,543	7,527	11,819	10,419	8,671	1,144
個票枝番	主な事業内容						
	汚水管きょ布設	136,400	135,292	150,000	132,000	131,380	△ 3,912
	国府町三川地内						
	奥飛騨温泉郷中尾地内						
	国道41号改良工事に伴う移設(久々野町山梨地内)						
	一之宮マンホールポンプ更新工事						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・国府処理区及び栃尾処理区の管きょ整備 国府処理区三川地区 管きょ延長＝753.5m、整備面積＝2.22ha 栃尾処理区中尾地区 管きょ延長＝619.2m、整備面積＝2.16ha
評価等	・各地域の市民ニーズは高いが、下水道利用には個人での宅内排水整備費用が必要となり、高齢者世帯であることや、資金不足を理由に下水道切り替えに至らないケースがあるため、将来的な維持管理に係る自己負担額の比較や融資制度の説明をして下水道接続率を上げる必要がある。 ・処理区域全体の下水道接続率を上げることにより事業効率を上げる必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・下水道整備にあたり、事前に住民の下水道接続同意を得て、整備コストを考えたが事業を進める。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・国府処理区及び栃尾処理区の管きょ整備 国府処理区三川地区 管きょ延長＝834.1m、整備面積＝1.66ha 栃尾処理区中尾地区 管きょ延長＝423.8m、整備面積＝1.79ha
評価等	・各地域の市民ニーズは高いが、下水道利用には個人での宅内排水整備費用が必要となり、高齢者世帯であることや、資金不足を理由に下水道切り替えに至らないケースがあるため、将来的な維持管理に係る自己負担額の比較や融資制度の説明をして下水道接続率を上げる必要がある。 ・処理区域全体の下水道接続率を上げることにより事業効率を上げる必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・下水道整備にあたり、事前に住民の下水道接続同意を得て、整備コストを考えたが事業を進める。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	120,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
197,173	197,625	197,625	43,906
15,410	15,000	15,000	△ 12,900
168,300	169,000	169,000	55,000
13,463	13,625	13,625	1,806
査定額	説明		
194,000			
110,700			
53,300			
※			
※			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・管きょ布設工事に必要な経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

34_下水道課.xlsx7

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_8

事業名	12200 特定環境保全処理場建設事業費			予算	会計	4	下水道事業特別会計	総合計画画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設）、各種公共施設の整備を進めます。
					款	1	下水道事業費		個別分野	5	上下水道		
					項	2	特定環境保全下水道施設費		施策概要	5	下水道施設の整備		
					目	2	処理場建設事業費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画			
担当課	水道部 下水道課		内線	2264									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。	概要	・特定環境保全公共下水道処理場の長寿命化計画に基づき、老朽化した施設や機器の更新を計画的に実施する。
----	---------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		1,500	0	103,000	13,300	13,036	13,036
特定財源	国費 (処理場改造事業費5/10,5.5/10)	750	0	56,500	7,250	7,105	7,105
	県費 ()						
	その他(市債)	750	0	41,000	5,200	5,200	5,200
その他		0	0	5,500	850	731	731
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	移動式汚泥脱水乾燥施設整備			100,000	12,000	11,740	11,740
	水処理設備及び汚泥脱水設備の長寿命化	1,500	0	3,000	1,300	1,296	1,296

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・移動式汚泥脱水乾燥設備の実施設計(直営)	
評価等	・下水道事業整備5か年計画に基づき設備の更新を計画的に行っている。	
次年度以降の考え方(担当課)	・計画的に長寿命化工事を実施する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・移動式汚泥脱水乾燥設備の長寿命化工事 ・福地浄化センターばっ気装置の実施設計	
評価等	・下水道事業整備5か年計画に基づき設備の更新を計画的に行っている。	
次年度以降の考え方(担当課)	・計画的に長寿命化工事を実施する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	31,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
52,473	53,100	53,100	△ 49,900
28,831	29,150	29,150	△ 27,350
20,900	21,000	21,000	△ 20,000
2,742	2,950	2,950	△ 2,550
査定額	説明		
19,000	H30-H31 継続費		
34,000	平湯、荘川、久々野		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・処理施設の長寿命化に必要な経費を計上

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	12200 特定環境保全処理場建設事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	4	下水道事業特別会計	担当課	水道部 下水道課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	1	下水道事業費		
枝番・内容	1 移動式汚泥脱水乾燥施設整備		☒ その他重要事業			項	2	特定環境保全下水道施設費	内線	2264
			☐			目	2	処理場建設事業費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。	概要	・特定環境保全公共下水道処理場の長寿命化計画に基づき、老朽化した施設や機器の更新を計画的に実施する。
----	---------------------------	----	--

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	100,000
主な経費	・工事請負費	
対前年度増減額(当初予算)		100,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	100,000
	繰越	
	補正等	△ 88,000
	最終	12,000
決算額		11,740
対前年度増減額(決算)		11,740

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	19,000
主な経費	・工事請負費	
対前年度増減額(当初予算)		△ 81,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・移動式汚泥脱水乾燥車の新規整備 ・既存移動式汚泥脱水乾燥車の修繕		
[スケジュール]		
・平成29年7月～平成30年3月 汚泥脱水乾燥車の製作 ・平成29年12月～平成30年3月 既存汚泥脱水乾燥車の修繕		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業実績]	
・既存移動式汚泥脱水乾燥車の長寿命化工事	
[評価]	
・国の交付金が要望額に対して少なかったため、汚泥脱水乾燥車の新規整備ができなかった	
・既存汚泥脱水乾燥車の修繕は計画どおり実施できた	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・計画的に長寿命化工事を実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業実績、評価等	
[事業実績]	
・既存移動式汚泥脱水乾燥車の長寿命化工事	
[評価]	
・国の交付金が要望額に対して少なかったため、汚泥脱水乾燥車の新規整備ができなかった	
・既存汚泥脱水乾燥車の修繕は計画どおり実施できた	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・計画的に長寿命化工事を実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・移動式汚泥脱水乾燥車の整備 平湯、新平湯、栃尾、本郷、福地処理区 継続費 平成30年度～平成31年度	
[スケジュール]	
・平成30年7月～平成31年12月 汚泥脱水乾燥車の製作 ・平成32年1月～ 運転開始	
次年度以降 の考え方 (担当課)	

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_10

事業名	21100 一般管理費			予算	会計	4	下水道事業特別会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
					款	2	総務費		個別分野	5	上下水道		
					項	1	総務管理費		施策概要	4	水洗化の普及		
					目	1	一般管理費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画			
担当課	水道部 下水道課		内線	2264									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・下水道受益者に対し、下水道事業受益者分担金・負担金及び下水道使用料を適正に賦課、徴収することで収入の確保を図り、安定した下水道事業の運営を行う。 ・整備した施設の有効利用と使用料収入が確保できるよう、水洗化の普及を促進し、できるだけ多くの市民に下水道を使用してもらう。 ・下水道事業の企業会計化により、経営の効率化・透明化を図る。	概要	・受益者分担金・負担金及び使用料の賦課及び徴収を適正に行う。 ・下水道接続率の向上のため、水洗便所等改造資金融資あっせん制度の周知と広報・戸別訪問等による水洗化啓発を行う。 ・企業会計化に向けた資産調査評価業務及び各種システム・法令例規整備を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
生活排水処理率	90.0%	90.4%	93%
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		143,058	125,001	179,051	179,051	157,373
特定財源	国費 (固定資産調査評価事業費5/10)			30,000	23,800	23,798
	県費 ()					
	その他(市債)			30,000	30,000	23,700
その他		143,058	125,001	119,051	125,251	109,875
個票枝番 主な事業内容						
	水洗化資金融資預託金	10,000	4,000	4,000	4,000	2,200
◎ 1	下水道事業地方公営企業移行事業			60,000	60,000	47,596
	一般管理事務費	133,058	121,001	115,051	115,051	107,577
	マンホールカード、カラーマンホールの製作					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・生活排水処理率向上のための水洗化資金融資に対する預託を行った。 ・上水道課と連携を図り、水道料金・下水道使用料の滞納整理を実施 ・水洗化啓発文書の送付、戸別訪問等による水洗化向上施策の実施
評価等	・恒常的な滞納者に対し、随時電話連絡等を行い、期限内に納付するよう引き続き指導する必要がある。 ・下水道接続率を向上させるため、未接続の要因分析を行うとともに、接続率の低い地域の啓発活動を引き続き行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・滞納、接続率等の課題等について継続した対応を図る。 ・地方公営企業法適用に向けた準備を進める。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・生活排水処理率向上のための水洗化資金融資に対する預託を行った。 ・企業会計化に向けた資産調査評価業務委託を行った。 ・上水道課と連携を図り、水道料金・下水道使用料の滞納整理を実施 ・水洗化啓発文書の送付、戸別訪問等による水洗化向上施策の実施
評価等	・恒常的な滞納者に対し、随時電話連絡等を行い、期限内に納付するよう引き続き指導する必要がある。 ・下水道接続率を向上させるため、未接続の要因分析を行うとともに、接続率の低い地域の啓発活動を引き続き行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・滞納、接続率等の課題等について継続した対応を図る。 ・地方公営企業法適用に向けた業務を計画的に実施する。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	210,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
162,363	166,588	166,588	△ 12,463
23,000	23,000	23,000	△ 7,000
23,000	34,000	34,000	4,000
116,363	109,588	109,588	△ 9,463
査定額	説明		
3,000			
57,000	固定資産調査、公営企業会計移行事業		
104,038			
2,550			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・公営企業化への対応
担当課 予算要求 ポイント	・地方公営企業法適用に向けた準備に要する経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	21100 一般管理費	区分	☒ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	4	下水道事業特別会計	担当課	水道部 下水道課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	1 下水道事業地方公営企業移行事業		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2264
			☐			目	1	一般管理費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・下水道事業の企業会計化により、経営の効率化・透明化を図る。	概要	・企業会計化に向けた資産調査評価業務及び各種システム・例規整備を行う。
----	--------------------------------	----	-------------------------------------

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	60,000
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		60,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	60,000
	繰越	
	補正等	
	最終	60,000
決算額		47,596
対前年度増減額(決算)		47,596

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	57,000
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		△ 3,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・固定資産調査評価事業 継続費 平成29年度～平成30年度 下水道事業特別会計が保有する固定資産等の調査及び評価		
[スケジュール]		
・平成29年7月～平成31年3月 固定資産調査評価業務委託		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業実績]	
・固定資産調査評価事業 継続費 平成29年度～平成30年度 下水道事業特別会計が保有する固定資産等の調査及び評価 進捗率=51%	
[評価]	
計画どおり実施できた。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・地方公営企業法適用に向けた業務を計画的に実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業実績、評価等	
[事業実績]	
・固定資産調査評価事業 継続費 平成29年度～平成30年度 下水道事業特別会計が保有する固定資産等の調査及び評価 進捗率=51%	
[評価]	
計画どおり実施できた。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・地方公営企業法適用に向けた業務を計画的に実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・固定資産調査評価事業 継続費 平成29年度～平成30年度 下水道事業特別会計が保有する固定資産等の調査及び評価	
・地方公営企業移行事業 継続費 平成30年度～平成31年度 地方公営企業法適用に必要な手続き等 地方公営企業法適用後の財政シミュレーション 公営企業会計運用に必要な会計システムの構築	
[スケジュール]	
・平成29年7月～平成31年3月 固定資産調査評価業務委託 ・平成30年7月～平成32年3月 地方公営企業移行業務委託	

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_12

事業名	22100 管きょ管理費			予算	会計	4	下水道事業特別会計	総合計画画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
					款	2	総務費		個別分野	5	上下水道		
					項	2	下水道施設管理費		施策概要	5	下水道施設の整備		
					目	1	管きょ管理費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画			
担当課	水道部 下水道課		内線	2264									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。	概要	・管路やマンホールポンプの定期的な調査・清掃・保守点検を実施し必要に応じて修繕を行う。
----	---------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		53,367	45,725	53,367	53,367	51,810
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
その他		53,367	45,725	53,367	53,367	51,810
個票枝番	主な事業内容					
	管きょ施設の維持管理	53,367	45,725	53,367	53,367	51,810

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・マンホールポンプの清掃・保守点検 12回(1回/月) ・管路施設カメラ調査 L=2.3km ・管きょ浸入水止水修繕 N=18箇所
評価等	・マンホールポンプ等の修繕は、機種により特定のメーカーでしか修繕ができない場合があり、早急な対応ができる汎用品への切り替えが必要となる。 ・有収率向上のための不明水対策を引き続き実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・既設設備の修繕経費と設備の機種変更等に係る経費の比較を行い、コスト削減に努める。 ・有収率向上のための不明水対策を引き続き実施する必要がある。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・マンホールポンプの清掃・保守点検 12回(1回/月) ・管路施設カメラ調査 L=4.3km ・管きょ浸入水止水修繕 N=14箇所
評価等	・マンホールポンプ等の修繕は、機種により特定のメーカーでしか修繕ができない場合があり、早急な対応ができる汎用品への切り替えが必要となる。 ・有収率向上のための不明水対策を引き続き実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・既設設備の修繕経費と設備の機種変更等に係る経費の比較を行い、コスト削減に努める。 ・有収率向上のための不明水対策を引き続き実施する必要がある。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	64,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
70,538	53,357	53,357	△ 10
70,538	53,357	53,357	△ 10
査定額	説明		
53,357			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・時代を先取りした観光地づくりの推進
担当課 予算要求ポイント	・下水道のイメージアップ及び観光需要掘り起こしのためのカラーマンホール蓋製作に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査 ・カラーマンホールの作成に要する経費は一般管理費、設置に要する経費は特定環境保全管きょ管理費及び農業集落排水事業へ移行
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_13

事業名	22200 処理場管理費			予算	会計	4	下水道事業特別会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設）、各種公共施設の整備を進めます。		
					款	2	総務費		個別分野	5	上下水道				
					項	2	下水道施設管理費		施策概要	5	下水道施設の整備				
					担当課		水道部 下水道課		内線	2264	目			2	処理場管理費

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。 ・施設の維持管理を適切に行い、施設の健全化及び長寿命化を図る。	概要	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に迅速に対応する。 ・専門の知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準内に処理する。 ・汚水処理に伴い発生する汚泥(産業廃棄物)を適切に処理する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		271,282	238,463	265,701	265,701	240,432
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
その他		271,282	238,463	265,701	265,701	240,432
個票枝番	主な事業内容					
	処理施設の維持管理	271,282	238,463	265,701	265,701	240,432

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・予防保全のための定期的な修繕・改修の実施により不稼働日の発生はなかった。 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、放流基準を満たす処理が実施できた。
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。 ・設備の補修や部品等の交換を計画的に行うことにより修繕箇所を減らし、コスト削減を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・施設の適切な管理運営を継続して行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・予防保全のための定期的な修繕・改修の実施により不稼働日の発生はなかった。 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、放流基準を満たす処理が実施できた。
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。 ・設備の補修や部品等の交換を計画的に行うことにより修繕箇所を減らし、コスト削減を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・施設の適切な管理運営を継続して行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	277,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
274,367	259,715	259,715	△ 5,986
274,367	259,715	259,715	△ 5,986
査定額	説明		
259,715			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・施設の維持管理に必要な光熱水費等を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_14

事業名	23100 特定環境保全管きょ管理費			予算	会計	4	下水道事業特別会計	総合計画画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
					款	2	総務費		個別分野	5	上下水道		
					項	3	特定環境保全下水道施設管理費		施策概要	5	下水道施設の整備		
					目	1	管きょ管理費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画			
	担当課	水道部 下水道課	内線		2264								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。	概要	・管路やマンホールポンプの定期的な調査・清掃・保守点検を実施し、必要に応じて修繕を行う。
----	---------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		33,085	30,048	33,295	33,295	32,758
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
その他		33,085	30,048	33,295	33,295	32,758
個票枝番	主な事業内容					
	管きょ施設の維持管理	33,085	30,048	33,295	33,295	32,758

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	34,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
47,420	35,545	35,545	2,250
47,420	35,545	35,545	2,250
査定額	説明		
35,545			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・マンホールポンプの清掃・保守点検 12回(1回/月)
評価等	・有収率向上のための不明水対策を実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・既設設備の修繕経費と設備の機種変更等に係る経費の比較を行い、コスト削減に努める。 ・有収率の低い地区において不明水対策を実施する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・マンホールポンプの清掃・保守点検 12回(1回/月)
評価等	・有収率向上のための不明水対策を実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・既設設備の修繕経費と設備の機種変更等に係る経費の比較を行い、コスト削減に努める。 ・有収率の低い地区において不明水対策を実施する。

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	・施設の維持管理に必要な光熱水費等を計上

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 カラーマンホール設置に係る経費を追加
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_15

事業名	23200 特定環境保全処理場管理費			予算	会計	4	下水道事業特別会計	総合計画画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
					款	2	総務費		個別分野	5	上下水道		
					項	3	特定環境保全下水道施設管理費		施策概要	5	下水道施設の整備		
					目	2	処理場管理費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画			
担当課	水道部 下水道課		内線	2264									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。 ・施設の維持管理を適切に行い、施設の健全化及び長寿命化を図る。	概要	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に迅速に対応する。 ・専門の知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準値内に処理する。 ・汚水処理に伴い発生する汚泥(産業廃棄物)を適切に処理する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		203,060	191,630	202,880	202,880	193,758
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
その他		203,060	191,630	202,880	202,880	193,758
個票枝番	主な事業内容					
	処理施設の維持管理	203,060	191,630	202,880	202,880	193,758

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	206,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
226,030	203,328	203,328	448
226,030	203,328	203,328	448
査定額	説明		
203,328			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・所管する10か所の処理場において、予防保全のための定期的な修繕・改修の実施により不稼働日の発生はなかった。 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、放流基準を満たす処理が実施できた。
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。 ・設備の補修や部品等の交換を計画的に行うことにより修繕箇所を減らし、コスト縮減を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・施設の適切な管理運営を継続して行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・所管する10か所の処理場において、予防保全のための定期的な修繕・改修の実施により不稼働日の発生はなかった。 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、放流基準を満たす処理が実施できた。
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。 ・設備の補修や部品等の交換を計画的に行うことにより修繕箇所を減らし、コスト縮減を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・施設の適切な管理運営を継続して行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・施設の維持管理に必要な光熱水費等を計上 ・飛騨市への管理運営事務委託料

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_16

事業名	11100 農業集落排水施設建設事業費			予算	会計	8	農業集落排水事業特別会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
					款	1	農業集落排水事業費		個別分野	5	上下水道		
					項	1	農業集落排水施設費		施策概要	5	下水道施設の整備		
					目	1	農業集落排水施設建設費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画			
	担当課	水道部	下水道課		内線	2264							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。	概要	・施設・設備の機能診断結果に基づき更新・長寿命化を図る。
----	---------------------------	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
生活排水処理率	90.0%	90.4%	93%
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		43,009	40,957	41,021	41,021	40,825
特定財源	国費 ()					
	県費 (農業集落排水施設整備費5/10)	3,000	2,889			
	その他(市債)	16,000	16,000	25,000	25,000	25,000
その他		24,009	22,068	16,021	16,021	15,825
個票枝番	主な事業内容					
	農業集落排水施設長寿命化整備	24,000	22,790	40,000	40,000	39,946
	災害復旧事業	18,000	17,259			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・処理施設の機能維持・長寿命化を図るための設備更新 ・被災した管路施設の災害復旧
評価等	・下水道事業整備5か年計画に基づき設備の更新を計画的に行っている。 ・施設は供用開始から時間が経過し老朽化が進んでいる設備が多いことから、更新計画については定期的に見直していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒維持・改善 ☐拡大 ☐縮小 ☐廃止検討 ☐H28完了 ☐H29完了予定 ・計画的に長寿命化工事を実施する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・処理施設の機能維持・長寿命化を図るための設備更新
評価等	・下水道事業整備5か年計画に基づき設備の更新を計画的に行っている。 ・施設は供用開始から時間が経過し老朽化が進んでいる設備が多いことから、更新計画については定期的に見直していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒維持・改善 ☐拡大 ☐縮小 ☐廃止検討 ☐H29完了 ☐H30完了予定 ・計画的に長寿命化工事を実施する。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	50,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
50,952	40,981	40,981	△ 40
38,000	28,000	28,000	3,000
12,952	12,981	12,981	△ 3,040
査定額	説明		
40,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・農業集落排水施設(機械・電気設備)長寿命化に要する経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

34_下水道課.xlsx_16

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_17

事業名	21100 一般管理費			予算	会計	8	農業集落排水事業特別会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
					款	2	総務費		個別分野	5	上下水道		
					項	1	総務管理費		施策概要	5	下水道施設の整備		
					目	1	一般管理費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画			
担当課	水道部 下水道課		内線	2264									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業集落排水事業の受益者に対し、受益者分担金及び農業集落排水使用料を適正に賦課、徴収することで収入の確保を図り、安定した農業集落排水事業の運営を行う。 ・整備した施設の有効利用と使用料収入が確保できるよう、水洗化の普及を促進し、できるだけ多くの市民に農業集落排水施設を使用してもらう。	概要	・受益者分担金及び使用料の賦課及び徴収を適正に行う。 ・下水道接続率の向上のため、水洗便所等改造資金融資あっせん制度の周知と利用を促進する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
生活排水処理率	90.0%	90.4%	93%
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		16,756	10,684	32,328	32,328	20,374
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(市債)			20,000	20,000	13,400
その他		16,756	10,684	12,328	12,328	6,974
個票枝番	主な事業内容					
	水洗化資金融資預託金	5,000	1,000	2,000	2,000	250
◎ 1	下水道事業地方公営企業移行事業			20,000	20,000	13,424
	事務費	11,756	9,684	10,328	10,328	6,700

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	27,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
17,173	19,887	19,887	△ 12,441
10,000	10,000	10,000	△ 10,000
7,173	9,887	9,887	△ 2,441
査定額	説明		
2,000			
10,000	継続費 H29-H30		
7,887			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・生活排水処理率向上のための水洗化資金融資に対する預託を行った。 ・上下水道課と連携を図り、水道料金・下水道使用料の滞納整理を実施 ・水洗化啓発文書の送付、戸別訪問等による水洗化向上施策の実施 ・未接続世帯へのアンケート調査
評価等	・恒常的な滞納者に対し、随時電話連絡等を行い、期限内に納付するよう引き続き指導する必要がある。 ・下水道接続率を向上させるため、未接続の要因分析を行うとともに、接続率の低い地域の啓発活動を引き続き行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・生活排水処理率向上のための水洗化資金融資に対する預託を行った。 ・企業会計化に向けた資産調査評価業務委託を行った。 ・上下水道課と連携を図り、水道料金・下水道使用料の滞納整理を実施 ・水洗化啓発文書の送付、戸別訪問等による水洗化向上施策の実施 ・未接続世帯へのアンケート調査
評価等	・恒常的な滞納者に対し、随時電話連絡等を行い、期限内に納付するよう引き続き指導する必要がある。 ・下水道接続率を向上させるため、未接続の要因分析を行うとともに、接続率の低い地域の啓発活動を引き続き行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	・公営企業化への対応
担当課予算要求ポイント	・地方公営企業法適用に向けた準備に要する経費を計上

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	21100 一般管理費	区分	☒ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	8	農業集落排水事業特別会計	担当課	水道部 下水道課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	1 下水道事業地方公営企業移行事業		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2264
			☐			目	1	一般管理費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・下水道事業の企業会計化により、経営の効率化・透明化を図る。	概要	・企業会計化に向けた資産調査評価業務及び各種システム・例規整備を行う。
----	--------------------------------	----	-------------------------------------

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	20,000
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		20,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	20,000
	繰越	
	補正等	
	最終	20,000
決算額		13,424
対前年度増減額(決算)		13,424

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	10,000
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		△ 10,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・固定資産調査評価事業 継続費 平成29年度～平成30年度 農業集落排水事業特別会計が保有する固定資産等の調査及び評価	
[スケジュール] ・平成29年7月～平成31年3月 固定資産調査評価業務委託	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・固定資産調査評価事業 継続費 平成29年度～平成30年度 農業集落排水事業特別会計が保有する固定資産等の調査及び評価 進捗率=51%	
[評価] 計画どおり実施できた。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・地方公営企業法適用に向けた業務を計画的に実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・固定資産調査評価事業 継続費 平成29年度～平成30年度 農業集落排水事業特別会計が保有する固定資産等の調査及び評価	
[スケジュール] ・平成29年7月～平成31年3月 固定資産調査評価業務委託	

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_19

事業名	22100 農業集落排水施設管理費			予算	会計	8	農業集落排水事業特別会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
					款	2	総務費		個別分野	5	上下水道		
					項	2	農業集落排水施設管理費		施策概要	5	下水道施設の整備		
					目	1	農業集落排水施設管理費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画			
担当課	水道部 下水道課		内線	2264									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。	概要	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に迅速に対応する。 ・専門知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準値内に処理する。 ・汚水処理に伴い発生する汚泥(一般廃棄物)を適切に処理する。 ・管路やマンホールポンプの定期的な調査・清掃・保守点検を実施し、必要に応じて修繕を行う。
----	---------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		195,305	188,866	195,320	195,320	192,195
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
その他		195,305	188,866	195,320	195,320	192,195
個票枝番	主な事業内容					
	農業集落排水施設の維持管理	195,305	188,866	195,320	195,320	192,195

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	201,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
208,393	195,804	195,804	484
208,393	195,804	195,804	484
査定額	説明		
195,804			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・所管する26か所の処理場において、予防保全のための定期的な修繕・改修の実施により不稼働日の発生はなかった。 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、放流基準を満たす処理が実施できた。 ・マンホールポンプ103か所の保守点検を12回、清掃を年1〜2回実施した。
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。 ・設備の補修や部品等の交換を計画的に行うことにより修繕箇所を減らし、コスト縮減を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・既設設備の修繕経費と設備の機種変更等に係る経費の比較を行い、コスト削減に努める。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・所管する26か所の処理場において、予防保全のための定期的な修繕・改修の実施により不稼働日の発生はなかった。 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、放流基準を満たす処理が実施できた。 ・マンホールポンプ103か所の保守点検を12回、清掃を年1〜2回実施した。
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。 ・設備の補修や部品等の交換を計画的に行うことにより修繕箇所を減らし、コスト縮減を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・既設設備の修繕経費と設備の機種変更等に係る経費の比較を行い、コスト削減に努める。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・施設の維持管理に必要な光熱水費等を計上 ・飛騨市への管理運営事務委託料

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査 カラーマンホール設置に係る経費を追加
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

34_下水道課.xlsx_19

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_20

事業名	22200 簡易排水施設管理費			予算	会計	8	農業集落排水事業特別会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
					款	2	総務費		個別分野	5	上下水道		
					項	2	農業集落排水施設管理費		施策概要	5	下水道施設の整備		
					目	2	簡易排水施設管理費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画			
担当課	水道部 下水道課		内線	2264									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。	概要	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に迅速に対応する。 ・専門の知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準値内に処理する。 ・汚水処理に伴い発生する汚泥(一般廃棄物)を適切に処理する。
----	---------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		3,758	3,565	3,758	3,758	3,609
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
その他		3,758	3,565	3,758	3,758	3,609
個票枝番	主な事業内容					
	簡易排水施設の維持管理	3,758	3,565	3,758	3,758	3,609

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・所管する4箇所の処理場において、定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、不稼働日の発生はなく放流基準を満たす処理が実施できた。	
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。	
次年度以降の考え方(担当課)	・処理施設の適切な管理運営を継続して行う。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・所管する4箇所の処理場において、定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、不稼働日の発生はなく放流基準を満たす処理が実施できた。	
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。	
次年度以降の考え方(担当課)	・処理施設の適切な管理運営を継続して行う。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	3,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
3,855	3,758	3,758	0
3,855	3,758	3,758	0
査定額	説明		
3,758			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・施設の維持管理に必要な光熱水費等を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	22300 小規模集合排水施設管理費			予算	会計	8	農業集落排水事業特別会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
					款	2	総務費		個別分野	5	上下水道		
					項	2	農業集落排水施設管理費		施策概要	5	下水道施設の整備		
					目	3	小規模集合排水施設管理費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画			
担当課	水道部 下水道課		内線	2264									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。	概要	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に迅速に対応する。 ・専門の知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準値内に処理する。 ・汚水処理に伴い発生する汚泥(一般廃棄物)を適切に処理する。
----	---------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		8,675	8,427	8,675	8,675	7,904
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
その他		8,675	8,427	8,675	8,675	7,904
個票枝番	主な事業内容					
	小規模集合処理施設の維持管理	8,675	8,427	8,675	8,675	7,904

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・所管する9か所の処理場において、予防保全のための定期的な修繕・改修の実施により不稼働日の発生はなかった。 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、放流基準を満たす処理が実施できた。 ・マンホールポンプ3か所の保守点検を12回、清掃を年1〜2回実施した。
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・処理施設の適切な管理運営を継続して行う。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・所管する9か所の処理場において、予防保全のための定期的な修繕・改修の実施により不稼働日の発生はなかった。 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、放流基準を満たす処理が実施できた。 ・マンホールポンプ3か所の保守点検を12回、清掃を年1〜2回実施した。
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・処理施設の適切な管理運営を継続して行う。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	8,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
8,787	8,675	8,675	0
8,787	8,675	8,675	0
査定額	説明		
8,675			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・施設の維持管理に必要な光熱水費等を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

34_下水道課.xlsx_22

事業名	22400 個別排水施設管理費			予算	会計	8	農業集落排水事業特別会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
					款	2	総務費		個別分野	5	上下水道		
					項	2	農業集落排水施設管理費		施策概要	5	下水道施設の整備		
					目	4	個別排水施設管理費		根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画			
担当課	水道部 下水道課		内線	2264									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。	概要	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に迅速に対応する。 ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準値内に処理する。 ・汚水処理に伴い発生する汚泥(一般廃棄物)を適切に処理する。
----	---------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	89.6%	89.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		5,161	4,913	5,161	5,161	4,946
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
その他		5,161	4,913	5,161	5,161	4,946
個票枝番	主な事業内容					
	個別排水施設の維持管理	5,161	4,913	5,161	5,161	4,946

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・所管する57箇所の浄化槽において、予防保全のための定期的な修繕・改修の実施により不稼働日の発生はなかった。 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、放流基準を満たす処理が実施できた。
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・処理施設の適切な管理運営を継続して行う。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・所管する57箇所の浄化槽において、予防保全のための定期的な修繕・改修の実施により不稼働日の発生はなかった。 ・定期的な運転管理・保守点検・清掃等の業務により、放流基準を満たす処理が実施できた。
評価等	・適正な管理により施設稼働状況は良好である。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・処理施設の適切な管理運営を継続して行う。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	5,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
5,062	5,161	5,161	0
5,062	5,161	5,161	0
査定額	説明		
5,161			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・施設の維持管理に必要な光熱水費等を計上

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり